

空を見上げてみよう!プロジェクトin宮崎

「しぶんぎ座流星群」を見てみよう★

毎年の星見初めの定番現象…「しぶんぎ座流星群」がお正月明けにやってきます。「ふたご座流星群」や「ペルセウス座流星群」と共に三大流星群の一つとしても有名です。

今年のしぶんぎ座流星群は、4日(火)が極大となります。極大の時間は6時ごろで薄明の始まる時間ではありますが、月明かりもないので夜半過ぎから明け方にかけてが、観察には良さそうです。明るい流れ星に期待して、空を見上げてみましょう。



みんなで空を見上げて
SNSでつぶやこう!
ハッシュタグは…

#空プロ宮崎
#宮崎科学技術館



上図は4日午前3時の星空です。“北東”に流星群の放射点が昇ってきています。おおぐま座のしっぽに輝く“北斗七星”の近くに放射点があります。流星群の流星は、放射点を中心に放射状に出現します。つまり、夜空のどこにでも流星は出現します。でも、周りをキョロキョロしてしまうと流星を見逃してしまいます。1つの場所を決めたら、根気強く1点を眺めてくださいね! 今年は月明かりもないので、星座観察なども行いながら、楽しく観察してみましよう!

さあ、冬の夜空に願い事をしに出かけてみませんか!? レッツゴー♪

宮崎市内の星空スポット



①高岡町 瓜田ガム



②青島(白浜)



③堀切峠



④平和台公園

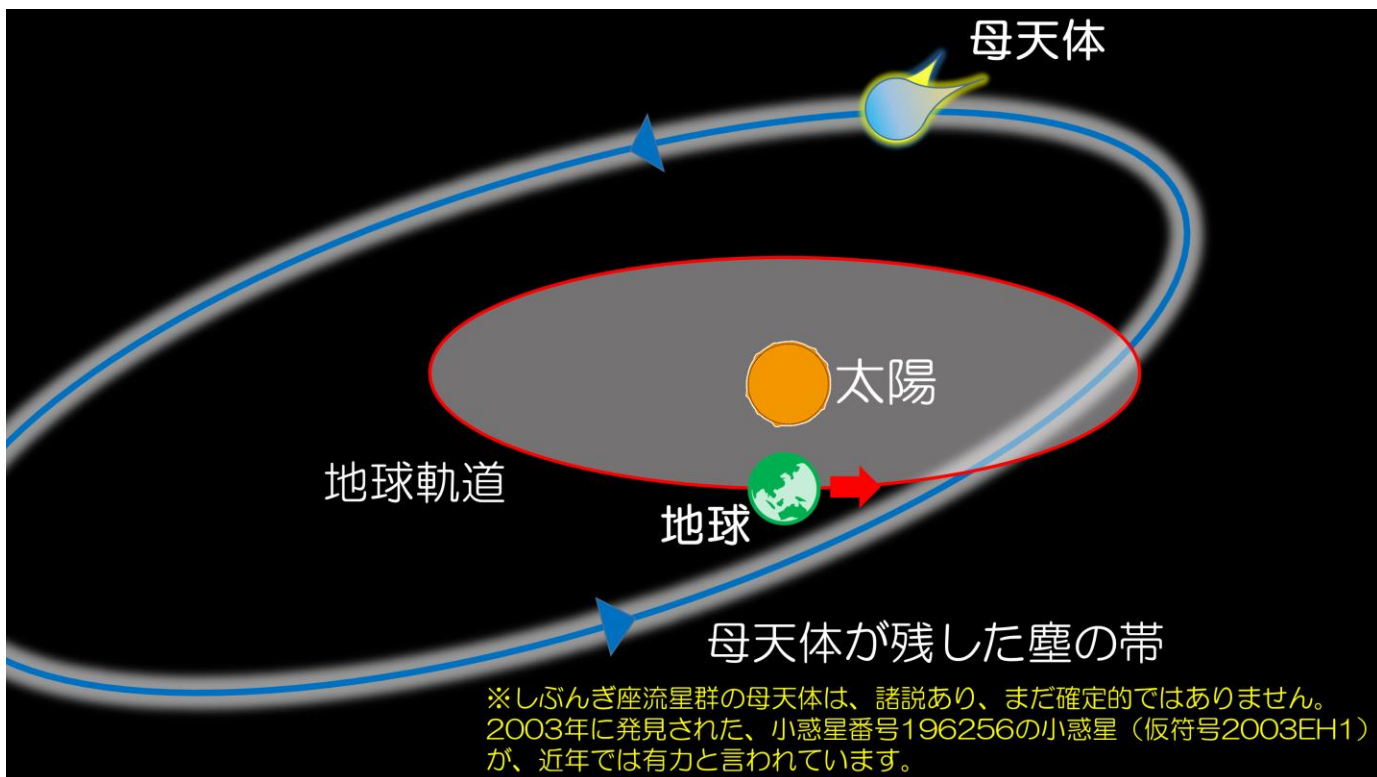
マナーを守って、
利用しよう!

空を見上げてみよう!プロジェクトin宮崎

「しぶんぎ座流星群」を見てみよう★

<流れ星って…!?!>

流れ星は、宇宙にある塵(ちり)が高速で地球の大気とぶつかって光り出す現象です。特に明るい流れ星は”火球(かきゅう)”と呼ばれます。そして、大きな火球になると燃えつきずに地上に落ちてくることがあります。これが「隕石(いんせき)」です。



<流れ星のもと”塵(ちり)”はどこからくるの!?!>

流れ星のもとは、宇宙の塵(ちり)なのですが、いったいどこからやってくるのでしょうか?実は、流星群には塵(ちり)を運んでくる”彗星(すいせい)(ほうき星)”と呼ばれる星が存在します。この彗星が通った後にはたくさんの塵がばらまかれています。そこに、私たちの暮らす地球が飛び込んでいくと一度にたくさんの塵(ちり)が地球の大気に入って来るためにたくさんの流れ星、つまり流星群となって見えるというわけです。

<観察のポイント>

- ◆あきらめずに決めた場所をじっくり観察しましょう!
 - ◆肉眼で一方向を観察しましょう!
 - ◆できれば街灯かりの少ない場所を選んで観察しましょう!
- ※小・中・高校生のみなさんは必ず大人の人と一緒に出かけましょう。

